



FRONTEO

FRONTEO通信

2022年3月期 事業報告
2021年4月1日～2022年3月31日

- トップメッセージ
- 事業ハイライト
- 業績ハイライト

株式会社FRONTEO

証券コード：2158

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」という企業理念のもと、独自開発の言語系人工知能（AI）エンジンを柱とするソリューションを提供し、様々なフィールドにおける社会課題の解決に貢献してまいりました。

未だ収束には至らない新型コロナウイルス感染症は、わが国経済に混乱を招いた一方で、リモートワークの普及やオフィス環境の見直しなど、新しい働き方をもたらしました。

ニューノーマルを見据えた「働き方改革」、生産性向上・業務効率化やビジネスモデルの変革を目的とした「デジタルトランスフォーメーション（以下、DX）」等、今後の成長に不可欠な分野に対する各社の投資需要は依然として強く、AIはその有力な選択肢となっております。

このような環境下において、2022年3月期は、前期に続き大幅な増益を達成することができました。

ライフサイエンスAI分野では、新たにドラッグマイニング事業への展開を果たし、新たなAIシステム「liGALILEO」をリリースいたしました。また、開発中のAI医療機器プログラムは、先行しております認知症診断支援AIプログラムに加え、骨折スクリーニングAIプログラム、統合失調症診断支援AIプログラム及びうつ病・躁うつ病診断支援AIプログラムなど、着実にパイプラインを拡充することができました。

また、ビジネスインテリジェンス分野は、ライフサイエンスAI分野の基幹AI エンジンである「Concept Encoder」を活用する新たな試みを行いました。この結果、建設・製造現場のリスク予測、安全管理のために活用する「WordSonar for AccidentView」、金融機関のお客様の声を不祥事の予兆や顧客ロイヤルティの向上に活用する

「WordSonar for VoiceView」をリリースいたしました。社会的なDX加速化の中で、お客様のニーズを的確に捉え、製品開発を進めてまいります。

リーガルテックAI事業においては、上半期に想定を上回る複数の大型案件を獲得し、当社の業績をけん引しました。現在、当社のポータルサイトにおいて弁護士と企業の法務担当者をつなぐサービスを積極的に提供しておりますが、弁護士や企業との接点を増やすことで、潜在的な顧客、パイプラインの拡大を図り、大型案件の動向に左右されない収益構造の実現を図ってまいります。

経済安全保障関連事業では、新たに開発したAI「Looca Cross」を活用し、「サプライチェーン解析サービス」、「株主支配ネットワーク解析ソリューション」及び「最先端技術・研究者ネットワーク解析ソリューション」の提供を開始いたしました。昨今の地政学リスクの高まりから、官民の経済安全保障への関心は強く、引き続き同事業の成長を図ってまいります。

現在、当社は、AIビジネスへのポートフォリオ・トランスフォーメーションを進めておりますが、経営資源をAIビジネスに集中する一方で、非AI関連ビジネスにつきましては、戦略的に縮小してまいります。

また、ステージ4の達成に向けた経営基盤、営業基盤の再構築を進めており、人的投資を積極的に行っております。より長期的な視野に立ち、今後の当社の飛躍的な成長及び企業価値の向上のための様々な施策を実行してまいります。株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 FRONTEO
代表取締役社長



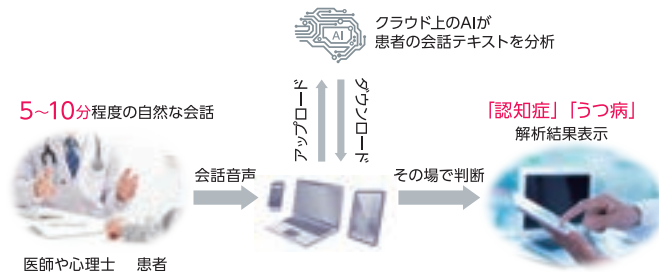
Handwritten signature of the President of Fronteo.

自社開発の自然言語解析AIエンジン「Concept Encoder（コンセプトエンコーダー）」は、論文や電子カルテといった複雑かつ専門性の高いテキスト情報を特殊なアルゴリズムにより解析します。本AIを活用し、医療の質向上・効率化、医療従事者の負担軽減・業務改善、患者や高齢者のQOL向上、創薬研究の推進・スピードアップなどに貢献できるよう、様々な製品を研究・開発・販売しています。

AI医療機器・AIヘルス

会話型 精神神経疾患診断支援AIプログラム

5～10分程度の医療者・患者間の自由会話を解析し、精神神経疾患の診断や重症度判定を支援します。認知症を対象とするAIプログラムは、2021年12月に臨床試験の症例登録を完了。薬事承認されれば、世界初の言語解析によるプログラムAI医療機器となります。



AIドラッグディスカバリ

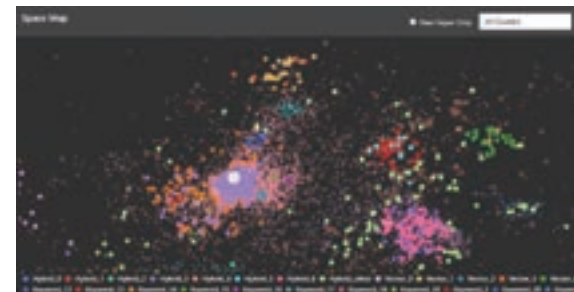
liGALILEO

創薬プロセスを抜本的に変革。新薬候補化合物の科学性・市場性評価を大幅に効率化・高速化します。



Amanogawa

膨大な論文情報を即時検索・分析。医学・創薬研究の効率化や網羅的な情報把握、新テーマ発見を支援します。



DX × 自然言語

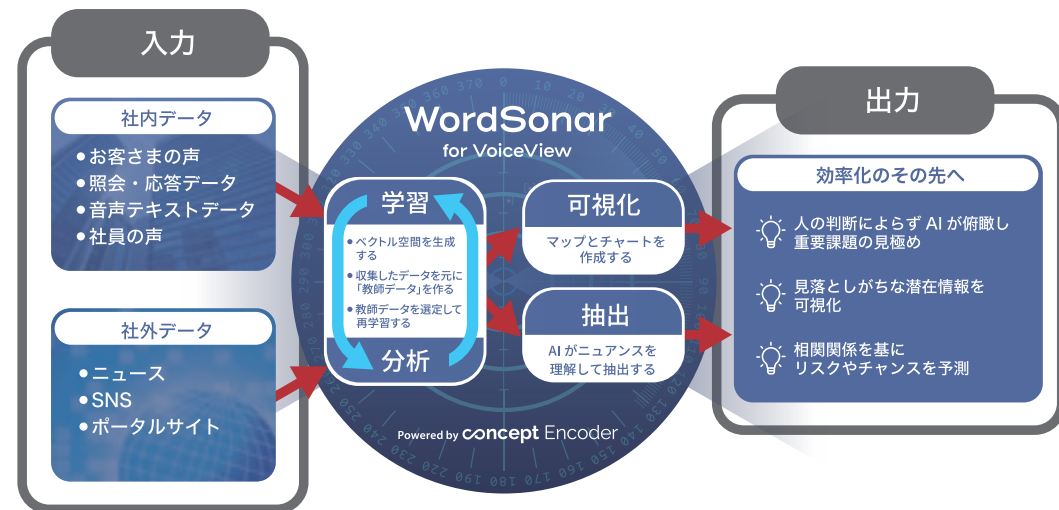
医療領域のAIエンジンを ビジネスインテリジェンスにも展開し、 企業のDXを加速

人手不足やコロナ禍でのリモートワーク推進により、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。AIエンジン“Concept Encoder”を用いた、当社の新AIソリューション「WordSonar」は、デジタル化による作業効率の向上に留まらず、人の発想を越える高度な判断や予測を実現します。

導入企業（一部、掲載順不同）



新AIソリューション「WordSonar for VoiceView」を使った企業DXの展開



<WordSonarで提供中のソリューション>

1. 日報や報告書から、建設・製造現場の安全対策に関するリスクを発見、予測し、管理者と現場に提示
2. コールセンターに集まる“お客様の声”を解析し、不祥事の予兆発見や顧客ロイヤルティの向上を実現

「経済安全保障推進法案」5月11日に参議院本会議で賛成多数で可決。
ますます高まる経済安全保障に関する経営戦略やリスク対策をサポート。

経済安保推進法案の概要

（内閣府ホームページ参照）

- ① 重要物資の安定的な供給の確保に関する制度
- ② 基幹インフラ役務の安定的な提供の確保に関する制度
- ③ 先端的な重要技術の開発支援に関する制度
- ④ 特許出願の非公開に関する制度

抑えるべき3つの視点と、AIを活用した経済安全保障ソリューションについて

1 サプライチェーンの安全性と健全性（調達リスク、人権、ESG）

→ サプライチェーンネットワーク解析AI

サプライチェーンにおけるチョークポイントを発見し、その支配による影響を解析、戦略策定を支援します。

2 事実上の企業の支配者は誰か？（取引先、提携先、投資先）

→ 株主支配ネットワーク解析AI

複雑な持ち株ネットワークを介して、どのような国や企業が他の企業に影響力を有しているかを分析します。ESGの観点から、投資先企業の安全性や、自社/競合の投資による影響力の評価に役立ちます。

3 誰がどのような最先端技術を持っているか？

→ 最先端技術・研究者ネットワーク解析AI

主要なコミュニティと、コミュニティ内部の中心的研究者をネットワークアルゴリズムを用いて検出し、中心的研究者の研究内容を俯瞰することにより技術トレンドを解析します。
特定の研究領域において、コミュニティとその中心的な人物を特定し、テーマごとに重要な研究者コミュニティとそのメンバーを把握します。

2022.1.31 西村あさひ法律事務所とFRONTEO、「経済安全保障イニシアチブ」を開催

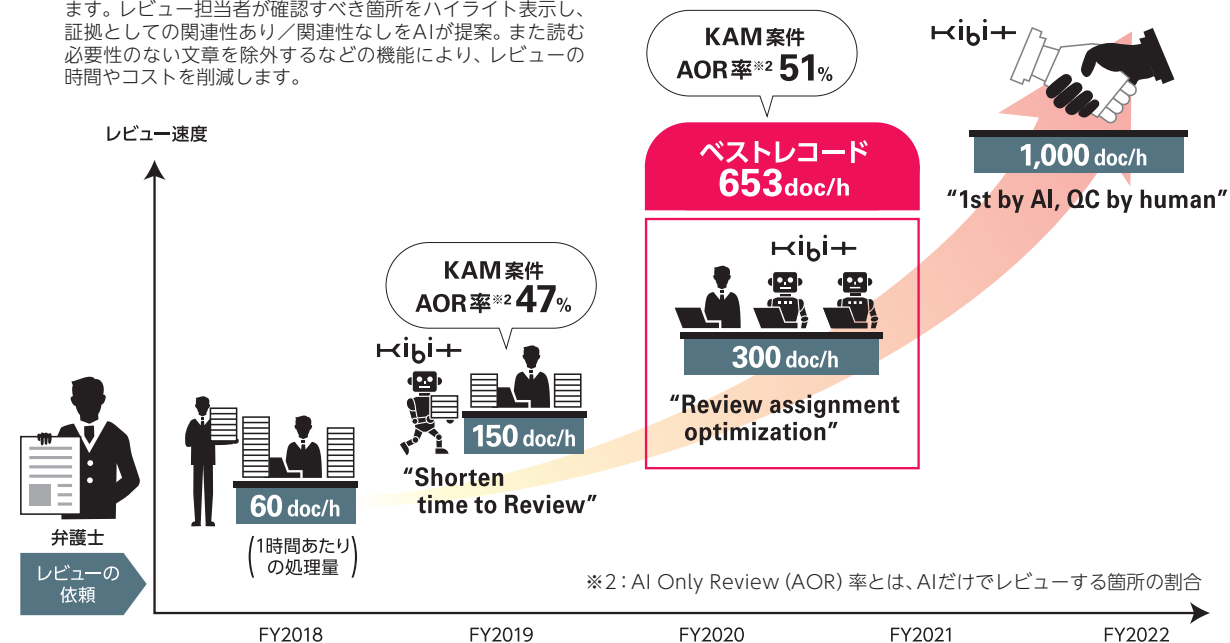
甘利 明衆議院議員（自由民主党）による基調講演を筆頭に、経済安全保障領域に造詣の深い講師が法制の概要やデューディリジェンス、AIを活用した経済安全保障ソリューションをテーマに講演しました。米中の法規制の中で、日本企業が経済安全保障に関して把握すべきリスク対策を提示し、企業の経済安全保障対策を新たな資本主義における成長戦略と位置づけ、戦略的な取り組みについて解説・提起しました。



AIレビューツールKIBIT Automatorで 品質を高めながらレビュースピードをさらに向上

リーガルテック分野においても、AIを主体としたビジネスモデルの転換が確実に進みました。従来のレビューと比較し、利益率の高いKIBIT Automator (KAM) ※1を活用した案件数を順調に積み上げ、ポートフォリオ・トランスフォーメーションを実現しました。

※1：KIBIT Automatorはレビューの大部分の自動化を可能にします。レビュー担当者が確認すべき箇所をハイライト表示し、証拠としての関連性あり／関連性なしをAIが提案。また読む必要性のない文章を除外するなどの機能により、レビューの時間やコストを削減します。

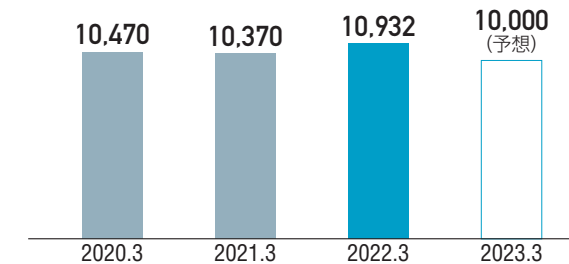


優秀な弁護士や専門家と、企業をつなぐリーガルプラットフォーム “FRONTEO Legal Link Portal”が登録会員7,000名を突破

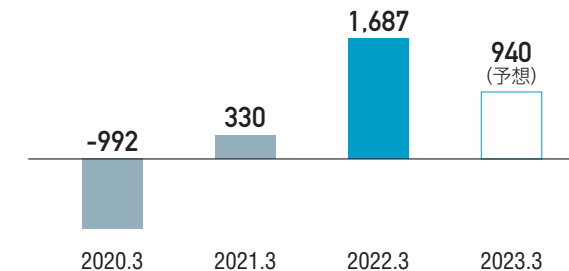
2020年6月に開設以来、有事対応に関わる法務担当者・管理部門責任者などの法知財関連の企業担当者と、優秀な弁護士や専門家をつなぐ、国内最大級のプラットフォームに成長しています。ライブでのオンラインセミナーとオンデマンド動画を発信し、40以上の日米の大手弁護士事務所からの登壇者は130名を超え、動画コンテンツ数は360本を突破。企業と弁護士との接触の機会を創出しています。

連結業績ハイライト (単位：百万円)

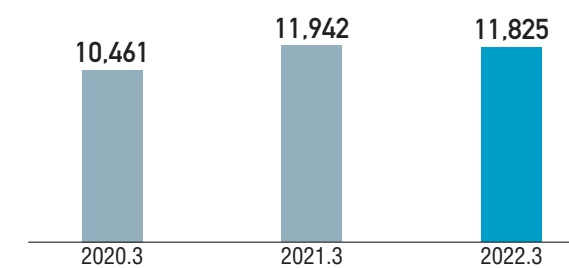
売上高



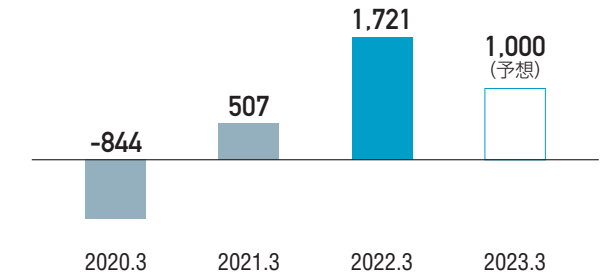
経常利益 (損失)



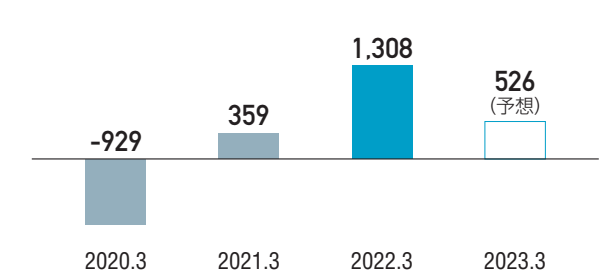
総資産



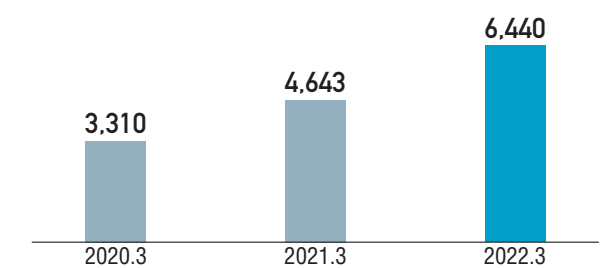
営業利益 (損失)



親会社株主に帰属する当期純利益 (損失)



純資産



IRサイトで
さらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料などさらに詳しい決算情報がご覧になれます

<https://www.fronteo.com/ir/>

FRONTEO IR



会社情報 / 株式情報

会社概要 (2022年3月31日現在)

商 号	株式会社FRONTEO (FRONTEO, Inc.)
証券コード	2158
設 立	2003年8月
資 本 金	3,034,846千円
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
従 業 員 数	310名

役 員 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長CEO	守本 正宏
取締役COO	上杉 知弘
取締役	山本 麻理
取締役 ^{*1}	舟橋 信
取締役 ^{*1}	桐澤 寛興
取締役 ^{*1}	永山 妙子
取締役 ^{*1}	鳥居 正男
常勤監査役 ^{*2}	須藤 邦博
監査役 ^{*2}	安本 隆晴
監査役 ^{*2}	大久保 圭

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	39,314,062株
株主数	33,214名

大株主 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
守本 正宏	6,785,900	17.26
株式会社フォーカスシステムズ	3,637,420	9.25
池上 成朝	2,720,300	6.91
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	774,900	1.97
株式会社学研ホールディングス	391,600	0.99
西田 井太郎	302,500	0.76
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	235,400	0.59
野村證券株式会社	218,300	0.55
栗野 哲也	200,500	0.51
SMBC日興証券株式会社	189,700	0.48

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所グロース市場
株式の売買単位	100株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: https://www.fronteo.com/ir/ やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページからご確認ください。 https://www.tr.mufig.jp/daikou/

